

那覇市長 宛		令和 8 年 9 月 18 日	
		アトリエまちのたね	
		神谷 あゆみ	
		神谷 あゆみ	
「なは市民活動支援事業」			
中間報告書			
令和8年6月11日付け、那覇市指令市第1141号で交付決定の通知を受けた当該事業について、現時点での進捗を下記のとおり報告します。また、市ホームページへの掲載を承認し、中間報告会で他団体とも内容を共有します。			
1.事業名	ユース居場所づくりと若者と地域のマッチング事業		
2.実施内容	【令和8年5月19日～令和8年9月末（中間報告時点）の実績】 ◆ 居場所運営「まちのたねラボ」（通年・週2回） ・実施場所：なは市民協働プラザ研修室・交流スペース等 ・頻度：火曜・木曜 17:00～20:00 出入り自由・無料 ・対象：主に高校生（希望により中学生・大学生も可） ・内容：居場所開放（学習・談話・相談）、小さな企画づくりのサポート、地域活動の紹介 ・参加延べ人数：約55名（リピーター含む） ◆ まち協コラボ①「沖縄イチ楽しいラジオ体操をつくる」（7月18日、8月22日・石嶺まち協） ・石嶺小学校区まちづくり協議会と共催。マイ投資実施しているラジオ体操後のこどもイベントを企画し実施する。 ・参加者：高校生3名、中学生20名 ◆ 市民活動コラボ①「子供の居場所 食育×縁日」（7月26日・松川まち協・くまここ・まつがわおやじの会） ・松川小学校区まちづくり協議会・こどもの居場所くまこと協働で「こども縁日」を企画・実施。 ・高校生3名（異なる学校）が自ら企画立案し、まち協おやじの会への協力依頼まで主体的に行動。当日ボランティア28名 ・当日はおやじの会メンバーがサポート、役割分担して実施。子ども・保護者・地域住民が参加。 ・振り返りセッションを実施し、参加高校生全員が「次にやりたいこと」を言語化。 ◆ 探究ワーク①「探究活動と進学について」（7月・なは市民協働プラザ） ・対象：高校生、参加者：6名 ・探究学習の意義と進路への活かし方についてのワーク。自分のやりたいを言語化する場。		
3.事業を一言で表現すると	(例：生活困窮世帯に食糧を配布することで、対象者が安定して食事が取れるように支援する。) 中高生が「ただいていい」居場所と「やりたい」への伴走支援を提供することで、若者が自己肯定感を持ち、地域に愛着ある大人へと育つ基盤をつくる。		
4.これまでの活動の振り返り	【良かった点】 ① 「居場所」としての機能創出 やりたいことや進路、推薦書書き方など相談：10件。複数回利用する若者には、「お喋りだけでもいい」という安心感が生まれている。来るだけでいい、という運営方針に共感し、自然な会話・相談が生まれている。 ② 高校生が主体的に動いたこども縁日の実現 異なる学校の高校生3名が「一緒に縁日をやりたい」と自ら動き出し、くまここ・松川まち協おやじの会へ協力依頼に出向き、イベントを実現。振り返りを経て「次にやりたいこと」も具体化。まちのたねラボが目指す「居場所→体験→地域循環」の最初のサイクルが生まれた。 ③ まち協との連携が始動 石嶺まち協と石嶺中学校とのラジオ体操実績ができ、地域の若者が地元の活動に参加する仕組みづくりを実験的に実施した。	【改善点・今後につなげる点】 ① 参加者数の安定化 来訪者数にばらつきがある。周知不足が要因の一つ。SNS発信の頻度を上げ、口コミ・学校へのチラシ配布を強化する。 ② 振り返りの仕組みの標準化 縁日のような大きな体験では実施できたが、日常の利用者定着が難しい。10月よりCOGエントリーに向けて継続的に活動する取り組みを導入する。 ③ 記録・可視化の充実 写真・参加者の変化の記録が不十分。10月より情報発信強化を図る。	

5.今後の活動予定 (事業期間内又はすでに終了した団体については次の予定)	【令和8年10月～令和9年2月末の予定】 ◆ 居場所「まちのたねラボ」通年運営継続（週2回・火木） 記録・情報発信体制を強化。 ◆ 探究ワーク②「なぜなぜ講座」（10月・なは市民協働プラザ） 自分のやりたいを「なぜ？」で深掘りするワーク。参加対象：高校生20名程度。 ◆ COG探究ワーク（10月～・那覇市まちづくり協働推進課と連携） 高校生が地域課題と自分のやりたいをつなぐ探究活動を実施。 ◆ 探究発表会（12月・Sustainabase共催） 活動成果を高校生が自分の言葉で発表。交流・出会いの場として開催。20名以上参加見込み。 ◆ 成果測定・振り返り・報告書作成（令和9年1～2月） 年間KPI達成状況を集計。アンケートを集計・分析し、次年度自走計画を策定。	
6.活動写真 (簡単な説明文を記入)	(こども縁日当日：高校生3名が企画・運営。松川まち協おやじの会と協働) 	(居場所「まちのたねラボ」の様子：高校生が談話・相談・企画づくり) 
	(沖縄イチ楽しいラジオ体操をつくろう：石嶺まち協と高校生が地域を歩いて学ぶ) 	(探究ワーク①：高校生が「やりたい」を言語化するワークショップ) 
7.今回の達成目標 (当初の事業計画書に記載した目標)	◆ 延べ利用者数 150名以上（年間） ◆ 地域マッチング 5件以上（年間） ◆ ユース会員 3名以上 ◆ 若者主体の企画 1本以上の実現 ◆ 振り返りセッション 体験後100%実施◆ まち協との連携企画 1本以上 ◆ 参加者アンケートによる自己肯定感・安心感の向上を確認	
8.現時点の目標達成度 (例：60%達成)	【中間時点（5～9月）の達成状況】約45%達成 ・延べ利用者数：約182名（通年継続中） ・地域マッチング：3件（ラジオ体操・こども縁日、若狭公民館） ・若者主体の企画：2本実現（こども縁日、多言語カフェ） ・振り返りセッション：実施済み ※10月以降の探究ワーク・発表会で残りの目標を着実に積み上げる。	